国際文化学部国際文化学科に合格された皆さんへ

合格おめでとうございます。

国際文化学科は、2023年4月に開設されて以来、その特徴的なカリキュラムがメディアにも取り上げられるなど様々に注目されながら5年目を迎えます。私たちは、戦争や武力衝突が続く、先の見えない不確かな時代に生きていますが、そのような時代に新しいチャレンジングな本学科を受験し、見事に合格された意欲あふれる皆さんを、未来の国際社会を創ってゆく仲間として心から歓迎したいと思います。

皆さんは、これまでの勉強が実り、今は大きな充実感に包まれていらっしゃることでしょう。またその一方で、入学に向けて、様々な準備も始められることと思います。

国際文化学科の教員一同も、皆さんが入学されるまでの時間をできる限り有意義に過ごされることを願っています。そこで、国際文化学科で学び始める前にぜひ読んでおいてほしい図書を、教員が1作ずつ選びました。推薦図書一覧をご覧ください。どうぞ楽しみながら、時間の許す限り読んでみていただければと思います。

それでは、健康に気をつけて、実り多い日々をお過ごしください。

2026年 11 月

日本女子大学　国際文化学部　国際文化学科
学科長　三田明弘



世界を、時代を、自分を超える。







2027年度合格者への推薦図書一覧（入学前課題）

対象者：総合型選抜・学校推薦型選抜（指定校制／連携校／附属）・外国人学生入試
・社会人入試・編入／学士で合格された方

以下の推薦図書一覧をご確認いただき、是非お読みください。
感想文の提出は必要ありません。

No.	著者名	書名	出版社
1	トーマス・ハーディ	『テス』（上下巻）	筑摩書房
2	鷲田清一	『老いの空白』	弘文堂
3	プラトン	『パイドロス』	岩波文庫、その他
4	四方田犬彦	『「かわいい」論』	ちくま新書
5	若桑みどり	『戦争がつくる女性像 第二次世界大戦下の日本女性動員の視覚的プロパガンダ』	ちくま学芸文庫
6	キンバリー・クリスマン・キャンベル	『スカートと女性の歴史』	原書房
7	プラトン/納富信留訳	『ソクラテスの弁明』	光文社古典新訳文庫
8	能登路雅子	『ディズニーランドという聖地』	岩波新書
9	モーパッサン	『女の一生』	光文社古典新訳文庫もしくは新潮文庫
10	マーク・トウェイン	『ハックルベリー・フィンの冒険』	どの出版社のものでも良いが、児童向けの版ではないもの
11	佐藤弘夫	『神国日本』	ちくま新書
12	エリックス・ホブズボーム/大井由紀訳	『20世紀の歴史（上）―両極端の時代―』	ちくま学芸文庫
13	池田　忍	『日本絵画の女性像―ジェンダー美術史の視点から』 (ちくまプリマーブックス)	筑摩書房
14	孔子	『論語』	岩波文庫（他社版も可）
15	四方田犬彦	『日本映画史100年』	集英社新書